「八ヶ岳エンデュランス馬術大会」 見学レポート

　前日は午後から雨となり、お天気が危ぶまれましたが、当日は快晴。絶好の走行日、見学日和となりました。
参加は５名、見学中にお２人合流され、７名で終了いたしました。

　競技会の１日は長いです。
ツアーのスケジュールを検討するにあたり、いかに効率よく、いかに間延びせず、競技会のいろいろなシーンをご覧いただけるかを念頭に考え、集合時間は最初のスタート（６：００）が既に終了している７：００に設定しました。
　簡単な自己紹介後に山梨県馬術競技場の正門をくぐり、左に獣医検査場、右にクルーエリアを見ながら審判棟を目指します。
　実行委員会のご厚意でご用意いただいたプログラムで、
まずは種目の事、タイムテーブル、走路図をご説明。
八ヶ岳の競技会の特徴のひとつである「高低差」には、皆様驚いていらっしゃいました。
馬場ではちょうどトレーニングライド 20km の人馬がスタートするところでしたので、
スタートの位置、ゴールの位置を確認し、「エンデュランスとは？」をテーマに、
規則の事、用語の事、競技の流れをお話ししながら、既にスタートしている
人馬のゴールを待ちます。

　９：００頃、最初にスタートした JEF 公認競技 80km の人馬が１レグのゴールを切ると、
　クルーイングの様子を興味深そうにご覧になっていました。
　獣医検査場では、心拍の事、歩様の事などの説明を加え、検査の様子を見学しました。

　強制休止の後、続々と２レグのスタートが始まるのをきっかけに、観音平のクルーポイントに車で移動します。
クルーポイントで馬が来るのを待つ間、皆様の興味は走路の事…大きな木々の間から延びる走路、思いがけないアップダウン、そしてその先の「第二防火帯」の事になります。

Copyright © 2023 Japan Endurance Ride Conference. All Rights Reserved.

実行委員会によると、例えば山菜採りに来た地元の方が走路を歩いていこうとされた場合、「馬に注意してください」に留まるそうで、これを聞い参加者から「見に行けるんですか？」のご質問

第二防火帯イメージ

「どうぞ」とも言えないので、地元の乗馬クラブで開催されている外乗ツアーでご要望されては？
とお返事しました ww。足で歩いていくのも悪くないと思いますが、馬で行けたらきっと最高です！
、
そうこうしている間に、クルーポイントには馬のクルーイングをしようと、クルーが続々かけつけてきます。

馬が到着すると、待っていたクルーが馬に水を飲ませたり、
体を冷やしたり、と、人馬の状態にあったクルーイングをしている姿を見学します。
クルーイングには「水」が欠かせませんが、水道のないこの場所に、水を一杯に入れた
ポリタンクをいくつも、何度も運び入れる実行委員会の姿には、頭が下がります。

再び競技場。
協会の理事長でもある高鳥氏、長く八ヶ岳エンデュランス馬術大会を運営されてましたが、
その任を終えられた今回は選手として出場されてました。
エンデュランスを愛してやまない高鳥氏より、
自馬と借馬の事、人の年齢の事、競技への思いなど、
興味溢れるお話しを伺います。

ここでたまたま会場に見学にいらしていたご夫婦とお会いし、合流。
少し説明をさせて頂きながら、ゴールしてきた馬の最終獣医検査を観察し、
ベストコンディション賞のお話し。
協会として初めて催行した見学ツアーは、１４：００頃に解散しました。

ご参加いただいた皆様が注意などを守り行動してくださったおかげで、無事に終了しました事に感謝いたします。
皆様の乗馬、エンデュランス競技への参加の一助になれば幸い、と願うとともに、ご協力いただきました実行委員会の皆様に深く感謝する次第です。ありがとうございました。

文責：日本エンデュランスライド協会　杉山

Copyright © 2023 Japan Endurance Ride Conference. All Rights Reserved.